

# 国際交流だより

2021.3  
Vol.22

ひたちなか市で行われている外国出身の方々との交流のようす、  
イベント、サポート活動などをお知らせする広報紙です。



令和2年度  
コロナ禍でも活動!



にほんご教室ルンルン  
5年目を迎えました!



これまでたくさんの方に参加していただきました!

お問い合わせ先はこちらです

ひたちなか市国際交流協会事務局

TEL / FAX 029-212-6855

メール info@hitachinaka-ia.org

URL http://www.hitachinaka-ia.org



# 日本語支援プロジェクトグループ にほんご教室ルンルンの思い出

「地域の日本語教室をひたちなか市国際交流協会でも!」の声に応じて「にほんご教室ルンルン」は始まりました。来日した理由も、国も様々な学習者さんとの交流は、誰もが手探り、無我夢中。力を合わせて楽しい日々です。  
(ルンルンスタッフ 本多久仁子)



学習者さんと一緒に学ぶ中で、毎回たくさんの発見があります。「わかった!」の笑顔を見られたときが何より嬉しいです。  
(ルンルンスタッフ 清水 敬子)



顔を合わせて、笑顔で学ぶ。いつも来なくなる居場所づくりを目指しています。  
(ルンルンスタッフ 勝山 紘子)



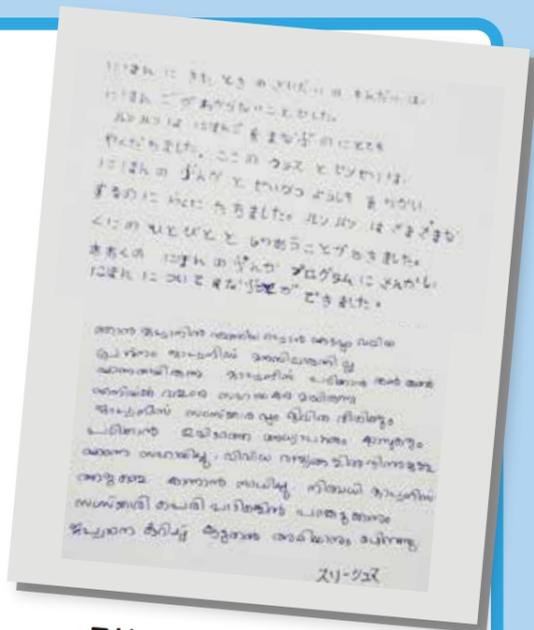
- | ふぁみりこらぼクラス  | みなとクラス   |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■水曜日 18:30~20:30</li> <li>■第2・第4水曜日 10:00~12:00</li> <li>■場所 子育て支援・多世代交流施設ふぁみりこらぼ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■第1・第3日曜日 15:00~17:00</li> <li>■場所 那珂湊コミュニティセンター</li> </ul> |

### 学習者からのメッセージ



インシャクリョウさん(中国)

ルンルンはあなたにとってどんな所って聞かれたら、やはり一番思い出した響きは「友達」です。日本にいた頃ルンルンの皆さんが友達みたいに接してくださって今でも感謝しています。このような体験があって本当に良かったって思っています！ルンルン、いいね！ご活躍を祈っています！（原文のまま）



スリーシュマさん(インド)

### 日本語ボランティア養成講座

初級10月7日~2月7日(全10回)  
講師：飯野令子氏(常磐大学准教授)



基礎的な指導方法のほか、地域の日本語教室でボランティアとして活動するための心構えなどを学びました。コロナ禍のなかで直接会えないときの活動手段としてオンラインの使い方も学びました。そのため、緊急事態宣言発令後にはスムーズにオンライン受講へ移行できました。

スキルアップ3月14日  
講師：澤則子氏(コミュニケーションアドバイザー)



日本語支援にも活かせる声の出し方(声の筋トレ)、わかりやすく伝わる話し方、円滑なコミュニケーションのための会話を学びました。

### 初期学習者のための日本語入門講座

令和2年11月1日から12月15日にかけて、計10回にわたり日本語入門講座を行いました。市内ロータリークラブからの支援を受けて開催しました。今回の学習者は7名でした。日本語の文法を学習することはもちろんのこと、病院で使う言葉やお金の数え方、季節の行事、ごみの出し方、災害時の表現など、日常生活に必要な知識を知ってもらうことを重視しました。受講後のアンケートでは、地域の情報を知ることができてよかったという声がありました。コロナ禍で制限もありますが、今後も様子を見ながら、順次開催予定です。



消毒、マスク着用、換気、席の間隔を空けるなど、コロナ対策を万全に行いました。



学習者さんの多くはママさん。子供たちはママが勉強のあいだ、別室で、保育士さんと一緒に遊びます。



みなさん、真剣です。日本語だけの説明を理解しようと一生懸命です。

### 賛助会員団体への日本語講師派遣

極洋食品株式会社ひたちなか工場で働く技能実習生の日本語学習支援のため、講師を派遣しました。実習生のみなさんは仕事が終わったあとに工場内で学習しています。



### 国際交流ひろば

毎週木曜日10:30~16:00  
市民交流センターひたちなか・ま



日本の生活に不慣れな外国人から相談を受けたり、日常生活の情報提供や日本語教室の紹介、日本文化「茶道」の体験などを行っています。ひろばに来て一緒にフリートーク(生きた日本語)を楽しみませんか!!\*協会の行事等の案内や相談窓口にもなっています。

### 協会員のための研修会2月27日

在留資格と外国人相談事例 講師：橋本哲氏(特定行政書士)

コロナ禍の影響で、講師にリモートで講義いただき、主会場のふあみりこらほ304研修室に10名が集まり、オンラインからは11名が参加しました。在留資格について、「言葉は知っているけれど詳しくはわからない…」という声が多く聞かれる内容を、具体的な事例(国際結婚における家族の招へい、専門学校卒業予定の留学生と就労との関係、技能実習生・特定技能者の採用時の留意点)をあげ、わかりやすく丁寧に説明していただきました。また、難民認定の実情にも触れられました。講演後は活発な質疑応答も行われ、参加者からは、今後さらに増えることが予想される在留外国人の手助けになる必要かつ確かな情報、知識を得る有意義な時間となった等の感想があげられました。



# 令和2年度を振り返って

「禍を転じて福と為す」 会長 大平 剛



2020年は新型コロナウイルス感染症の流行で大変な一年でした。当協会も、「3密」を避けるべく、各種の年間行事を中止せざるを得ませんでした。例年多くの市民が集まる国際交流文化祭については、実行委員会を立ち上げ、実施に向け走り出していましたので、中止の判断をすることは大変つらいものでした。

7月からは感染防止対策を考え、活動を再開したのものもありましたが、人が自由に集うには不安がぬぐえないなかで、協会活動に大きな変化がありました。日本語支援プロジェクトグループでは、外国人が孤立しないよう、このような時こそつながりを大事にしたいとオンラインの活用に向け試行錯誤し努力してくれました。今では、国へ帰った以前の学習者となつがるなど、これまでになかった活動のひろがりを見せています。また、1月からは令和3年度国際交流文化祭実行委員会、研修会、定例理事会等もオンラインを導入し、今後も交流の手段のひとつとして有効活用していきたいと考えています。

不自由なかでもつながりを維持しながら、コロナが去り、また集える日にはさらに交流を深められることを願い、今後とも頑張りたいと思います。



また集えることを願って...

# 茨城工業高等専門学校からのたより

「コロナ禍のもとでの高専」

昨年から続くコロナ禍により、茨城高専の学生たちも大きな影響を受けました。4月からの前期の講義は一部の実験・実習を除き遠隔での実施となり、友人とも顔を合わせる事の出来ない状況が続きました。9月になり、対面での講義が再開されましたが、様変わりした日常を過ごしています。

このような状況の中で、留学生は特に大きな影響を受けてしまいました。昨年春からの入国規制により、新入学や帰省をしていた一部の留学生は4月に来日できませんでした。いつ来日できるかの見通しがなかなか立たないまま、時差がある中での遠隔講義の受講となりました。

11月になり、ようやく全留学生が無事来日することができましたが、その後も追試験や遠隔で行うことができなかった実験・実習の補講などで忙しく過ごしています。この様な中、遠隔実施のサイエンスフェアに参加する留学生もいるなど、厳しい状況の中でも最善を尽くす前向きな学生たちの姿も見られ、勇気づけられます。



遠隔で講義を受ける留学生、ようやく来日できた留学生、サイエンスフェアで遠隔発表をする留学生

# 「ひたちなか祭り～希望～」

私が初めてダンスパレードに参加したのは2000年。「平和」を願い踊りました。そして2013年、初参加した協会チームのリーダーになりました。踊り続けて20年。コロナの流行で2020年のお祭りは中止。こんな日が来るとは、五輪を祝い「日の丸」をテーマに踊った2019年には夢にも思いませんでした。さまざまな交流を楽しみにしていたことが泡となり消えていきました。それでも私は、「素晴らしい明日のために」明るく希望を持っています。2021年こそはまた踊りあえることを祈って・・・。

(丸山 順子)



## 団体会員紹介

### 子どものための日本語教室“太陽”

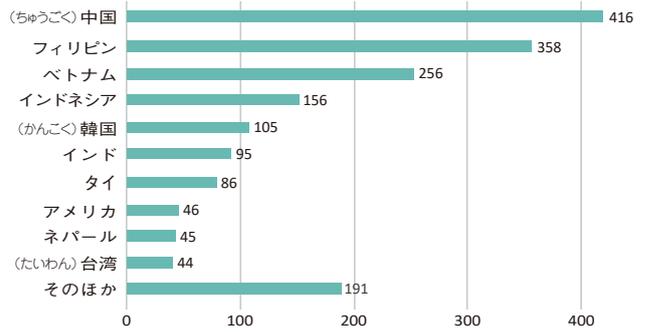


私たちは母国の学校や友人から離れて不安な気持ちでいる外国にルーツのある子どもに、学校で日本語学習の支援を行っています。生活の中で使う言葉から始め、ひらがな、かたかな、漢字、教科書学習に進みます。

大人になっても日本に住み続ける場合も増え、ときには高校や大学受験のことも一緒に考えます。不慣れな日本での生活のなか困難を乗り越えようと頑張っている子どもたちに寄り添い応援しています。より良い支援をするために私たちも勉強会で学び合っています。

## ひたちなか市の国籍別人口 (2020年12月現在)

ひたちなか市人口158,015人中、外国籍人口1,798人(1.14%)



## 「やさしい日本語」って何?

普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のことです。災害発生時に日本語も英語も十分に理解できない外国人が適切な行動をとれるように考え出されました。いまでは、平時の生活情報の提供や外国人観光客のための活用など、様々な分野にひろがりを見せています。大切なのは、相手へのおもいやりと伝えたい気持ちです。みなさんもぜひ使ってみてください。



## 事務局から

事務局対応時間 9:00 ~ 17:00 (おもに月~金)

興味のある方はぜひお問い合わせください。

年会費	正会員	個人	1口	1,000円 (学生500円)	会員数	150名
	●	個人	1口	1,000円 (学生500円)	会員数	150名
		団体	1口	3,000円	会員数	15団体
	●	賛助会員	1口	10,000円	会員数	6団体

## 編集後記

今号はコロナによって大きな変化を余儀なくされた協会活動の報告になりました。その状況でも会員たちはオンラインという新たなツールを用いて、活動を次に繋げる試行錯誤の一步を踏み出しました。これを機に時間や場所の制約で参加できなかった方々と交流が広がり、今後共に協会活動できますように。

## 賛助会員

賛助会員を募集しています! お気軽にお問い合わせください!!

- 株式会社茨城ポートオーソリティ
- 極洋食品株式会社ひたちなか工場
- 日立グループ
- ひたちなか商工会議所
- 勝田ライオンズクラブ
- 株式会社ネットクロス

(2021年3月現在・五十音順・敬称略)